



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカキュー
 コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年12月28日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大森 尚昭
 (氏名) 佐藤 立育

TEL 03-5248-4100

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	17,765	△1.8	240	188.0	415	60.1	126	—
28年2月期第3四半期	18,099	△4.6	83	△56.5	259	△28.3	△121	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	5.21	—
28年2月期第3四半期	△4.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第3四半期	14,079	7,467	53.0	306.48
28年2月期	12,261	7,375	60.2	302.70

(参考) 自己資本 29年2月期第3四半期 7,467百万円 28年2月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	0.3	500	48.5	700	22.8	200	—	8.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期3Q	24,470,822 株	28年2月期	24,470,822 株
29年2月期3Q	104,229 株	28年2月期	104,204 株
29年2月期3Q	24,366,616 株	28年2月期3Q	24,366,976 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
（継続企業の前提に関する注記）	7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	7
4. 補足情報	7
商品別売上高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱や米国の大統領選挙など世界経済に不透明感が強まるなか、一時的な円高の進行や株式市場の低迷もあり、個人消費は足踏み状況が続いております。当衣料品小売業界におきましても、購買意欲の冷え込みが続く厳しい状況となっております。

このようななか、当社は「最高のお客様満足」の実現に向け、営業・商品両面から取り組みました。

営業面では、スーツの体型別品揃え、カジュアル商品の購買層に合わせた展開等、店舗立地の特性に応じた商品構成の見直しの推進に引続き注力しました。店頭においては値ごろ感と魅力ある売れ筋商品を取り揃えて集客の強化を図るとともに、ショッピングセンターの販促企画におけるディベロッパーとの連携強化や催事販売の積極実施など機動的な販促活動に注力しました。またアルバイト従業員の集合研修の充実や、ロールプレイング・トレーニングなど店舗スタッフの基礎能力強化に取組み、接客力の向上を図りました。

オンラインショップは、店舗での試着予約の機能を加えたほか、新たなファッションサイトにおける品揃え強化など、EC売上の推進に注力し、お客様の利便性向上に努めました。

商品面では、引続きファッション性、機能性およびクオリティーの高い商品開発に努め、MDの細分化による季節、地域対応力の強化にも取組みました。さらに店舗への商品投入頻度アップにより、売れ筋商品の安定的な継続展開を図りました。また商品の投入と値下げのコントロールを強化し、粗利益率の改善にも努めました。

その結果売上高は、10月以降はコート、ブルゾンなどの防寒衣料が好調に推移しましたが、8、9月の天候不順による影響もあり、当第3四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は1.3%減となりました。

店舗面では、主力業態のタカキューを7店舗、セマンティック・デザインを3店舗、シャツ・コードを1店舗、計11店舗出店しました。一方で低効率店舗5店舗が退店し、当第3四半期会計期間末では前年同期と同数の282店舗となりました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は177億6千5百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益面では、引続き商品の投入・値下げのコントロールによる粗利益率の向上、経費の削減を図り、営業利益は2億4千万円（同188.0%増）、経常利益は4億1千5百万円（同60.1%増）となりました。四半期純利益は、減損損失の減少もあり1億2千6百万円（前年同期は1億2千1百万円の損失）となりました。

なお、熊本地震で被災した4店舗のうち営業休止中であった2店舗については、当第3四半期会計期間末では1店舗が営業を再開し、1店舗は仮店舗で営業しております。

また当社は、平成29年2月1日に会社分割によりビッグサイズの紳士衣料専門店「グランバック」の事業を承継する旨の吸収分割契約を、平成28年10月26日付にて株式会社ダイエーとの間で締結しました。

（2）財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して18億1千8百万円増加し、140億7千9百万円となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が7億6百万円、売掛金が5億6千4百万円、商品が7億3千1百万円それぞれ増加し、固定資産で有形固定資産8千万円、無形固定資産で8千万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して17億2千6百万円増加し、66億1千1百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が15億1千7百万円、その他の未払金が3億5千9百万円それぞれ増加し、賞与引当金が5千1百万円、未払消費税等が8千万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して9千2百万円増加し、74億6千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が7千8百万円、評価・換算差額等でその他有価証券評価差額金が1千3百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年2月期通期の業績予想につきましては、平成28年4月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,256,976	2,963,757
売掛金	1,285,485	1,850,095
商品	3,219,136	3,950,196
貯蔵品	48,659	54,229
繰延税金資産	90,249	132,449
その他	236,928	192,415
流動資産合計	7,137,437	9,143,144
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	344,242	318,177
器具及び備品(純額)	463,751	406,287
その他(純額)	5,014	8,208
有形固定資産合計	813,008	732,673
無形固定資産	349,769	268,981
投資その他の資産		
関係会社株式	283,192	300,270
賃貸不動産(純額)	27,459	80,849
差入保証金	244,988	244,988
敷金	3,081,436	3,079,227
繰延税金資産	185,841	152,135
その他	138,199	77,654
投資その他の資産合計	3,961,117	3,935,126
固定資産合計	5,123,894	4,936,781
資産合計	12,261,331	14,079,925
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	904,584	705,028
電子記録債務	1,909,617	3,626,823
未払法人税等	195,530	180,427
賞与引当金	124,810	72,914
災害損失引当金	—	5,635
その他	920,380	1,186,185
流動負債合計	4,054,922	5,777,015
固定負債		
退職給付引当金	20,189	—
資産除去債務	697,231	709,355
その他	113,142	125,586
固定負債合計	830,562	834,941
負債合計	4,885,485	6,611,957

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	4,750,443	4,828,706
自己株式	△26,251	△26,256
株主資本合計	7,292,676	7,370,935
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,168	97,032
評価・換算差額等合計	83,168	97,032
純資産合計	7,375,845	7,467,967
負債純資産合計	12,261,331	14,079,925

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)
売上高	18,099,689	17,765,576
売上原価	7,461,632	7,092,256
売上総利益	10,638,057	10,673,320
販売費及び一般管理費	10,554,525	10,432,725
営業利益	83,531	240,594
営業外収益		
不動産賃貸料	236,344	232,639
手数料収入	78,141	77,000
その他	30,406	33,521
営業外収益合計	344,892	343,161
営業外費用		
不動産賃貸費用	156,280	154,810
その他	12,330	13,009
営業外費用合計	168,610	167,820
経常利益	259,813	415,936
特別損失		
減損損失	265,814	61,902
災害による損失	—	19,023
特別損失合計	265,814	80,926
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△6,001	335,010
法人税、住民税及び事業税	146,667	219,723
法人税等調整額	△31,216	△11,709
法人税等合計	115,451	208,014
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△121,452	126,996

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上高

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)		前事業年度 (自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	6,907,754	38.1	7,103,637	40.0	9,306,660	38.3
中衣料	1,060,492	5.9	1,019,768	5.7	1,907,397	7.8
軽衣料	9,514,114	52.6	9,034,623	50.9	12,220,618	50.3
その他衣料等	617,327	3.4	607,546	3.4	885,486	3.6
合計	18,099,689	100.0	17,765,576	100.0	24,320,162	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。